

養成人材

人文学及び関連する社会科学の諸成果を継承し、多様な文化及び価値観を理解するとともに、自ら問題を設定・解決し、国内外の人々との確に意思を疎通できる能力を培うことを通して、現代の文化及び社会の諸問題に対処し得る人材を育成することを教育研究上の目的とする。

学位授与の方針

教養学部では、現代の文化及び社会の諸問題に対処し得る人材になるため以下の知識、能力を身につけ、卒業要件として定めている124単位を修得した学生に学士(教養)の学位を授与する。

(1) 専門的な深い知識の修得に関連する事柄

所属する専修課程（グローバル・ガバナンス専修課程、現代社会専修課程、哲学歴史専修課程、ヨーロッパ・アメリカ文化専修課程、日本・アジア文化専修課程）における学修によって、次のa～dを達成している。

- a. 各分野で蓄積された先行研究の成果をよく理解し、体系的で深い専門知識を修得する。
- b. 専門分野の方法(語学を含む)に習熟する。
- c. 専門分野に関して自身で問題を設定し、それについて探求・解決する能力を身につけている。
- d. 自身の研究成果を他者に説明し議論する能力を身につけている。

(2) 専門性のある幅広い基本的知識の修得に関連する事柄

次のa,bを達成している。

- a. 人文学・社会科学・自然科学に関する幅広い基本的知識を修得する。
- b. 所属する専修課程の専門分野に関連する分野の基本的知識を修得する。

(3) 知識を活用できる汎用的な能力の修得に関連する事柄

次のa～dを修得している。

- a. 幅広い視点に立って、自身で問題を設定する能力
- b. 設定した問題について情報や知識を的確に調査・収集する能力
- c. 設定した問題について多面的かつ論理的に考える能力
- d. 自らのアイデアを的確に伝える能力（語学の運用能力を含む）

(4) 学部における人材養成の目的に合致した能力の修得に関連する事柄

次のa, bを修得している。

- a. 国際的視野を持ち、国内外の多様な文化および価値観を理解する能力
- b. 現代の文化や社会の問題にさまざまな形で取り組む能力

教育目標

- 1 人文社会科学系専門科目を学修するための幅広い基礎を修得する。
- 2 所属専修課程（共生構想）における基本的な専門知識を修得する。
- 3 所属専修課程（共生構想）における特定の専門知識を修得する。
- 4 所属専修課程（共生構想）における専門分野の理解を深め、その知識を運用するための方法を修得する。
- 5 演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその成果を発表する能力を育む。

年次	科目	到達目標	教育目標 1	教育目標 2	教育目標 3	教育目標 4	教育目標 5
1～2	心理・行動科学入門	心理学の科学性・妥当性・限界について理解する	◎	○			
1～2	ジェンダー・スタディーズ入門	ジェンダーに関する理論や思想や歴史の基礎的な知識を学び、ジェンダー研究の基盤となる視点を養い、現代的ジェンダー課題について多角的・批判的に思考する基礎を修得することを目標とします。	◎	○			
1～2	社会心理学概説	(1) 関連する社会心理学の用語（テクニカルターム）について、その意味が説明できるようになる。 (2) 扱うテーマについて関連する基本的な研究が解説できるようになる。 (3) 扱うテーマについて自分の具体的な経験と結びつけて説明できるようになる。	○	◎			

1~2	認知心理学概説	・認知心理学の基礎知識について理解し、自分の言葉で説明できる。 ・今までの自分の経験と認知心理学での知見を結びつけて、自分の心の働きについて解説できる。 ・今まで出会ってきた他者の行動についても、心理学の知見を土台にして考える。	○	◎			
1~2	行動科学測定法概説	所属専修課程（共生構想）における基本的な専門知識を修得する。	○	◎			
1~2	ジェンダーの歴史	本授業は、ジェンダー・ヒストリーならびにクィア・ヒストリーの視点から、ジェンダー・セクシュアリティといった〈性〉に関する「包摂」と「排除」をめぐる諸問題を検討できるようにすることを目標とします。	○	◎			
1~2	ジェンダーと社会	ジェンダーやセクシュアリティの概念の意味や、その発展の歴史の意義を理解するとともに、自分自身がジェンダーやセクシュアリティの当事者として生きていくための土台を作る	○	◎			
1~2	ジェンダーと文化	所属専修課程（共生構想）における基本的な専門知識を修得する。	○	◎			
1~2	国際協力論入門	所属専修課程（共生構想）における基本的な専門知識を修得する。	○	◎			
1~2	現代社会論	所属専修課程（共生構想）における基本的な専門知識を修得する。	○	◎			
2~4	社会心理学研究法	所属専修課程（共生構想）における専門分野の理解を深め、その知識を運用するための方法を修得する。			○	◎	
2~4	認知心理学研究法	所属専修課程（共生構想）における専門分野の理解を深め、その知識を運用するための方法を修得する。			○	◎	
2~4	行動科学研究法	所属専修課程（共生構想）における専門分野の理解を深め、その知識を運用するための方法を修得する。			○	◎	
1~3	ジェンダー史研究法	所属専修課程（共生構想）における専門分野の理解を深め、その知識を運用するための方法を修得する。			○	◎	
1~3	ジェンダー社会論研究法	所属専修課程（共生構想）における専門分野の理解を深め、その知識を運用するための方法を修得する。			○	◎	
1~3	ジェンダー文化論研究法	所属専修課程（共生構想）における専門分野の理解を深め、その知識を運用するための方法を修得する。			○	◎	
2	Integrated English Skills(Communication)IA	This class is intended to help students to develop communicative strategies that will help with fluency and topic development in conversational situations.				◎	
2	Integrated English Skills(Communication)IB	In this class, learners will gain knowledge of how to understand communicative fluency which they can apply effectively in social and academic settings.				◎	
2	Integrated English Skills(Writing)IIA	This class is intended to guide learners to understand and master the writing structures requires for academic writing and reports such as the 'thesis statement' and essay planning and organisation.				◎	
2	Integrated English Skills(Writing)IIB	In this class, learners will develop skills to understand the academic writing genre along with learning how to use citations and sources in their writing to provide evidence to support an opinion on any given topic.				◎	
3	Integrated English Skills(Reading)IIIA	This class is intended for learners to develop effective reading skills through both extensive and intensive reading as well as instruction and advice on how to prepare test texts for groupwork activities.				◎	

3	Integrated English Skills(Reading)IIIB	In this class, learners will be taught skills to read English language texts more quickly and efficiently for both English language homework reading assignments in other classes and for test situations.				◎	
2	社会心理学概論	所属専修課程（共生構想）における基本的な専門知識を修得する。		◎	○		
2	認知心理学概論	所属専修課程（共生構想）における基本的な専門知識を修得する。		◎	○		
2	行動科学測定法概論	所属専修課程（共生構想）における基本的な専門知識を修得する。		◎	○		
2	ジェンダー史概論	所属専修課程（共生構想）における基本的な専門知識を修得する。		◎	○		
2	ジェンダー社会論概論	・概念・理論およびデータにもとづいて、ジェンダーに関わる社会現象を説明できる。 ・社会学においてジェンダーを研究する際の主要な研究方法について、基礎的事項を理解する。 ・ジェンダーの視点から社会課題を見だし、自分なりの問いを立てることができる		◎	○		
2	ジェンダー文化論概論	所属専修課程（共生構想）における基本的な専門知識を修得する。		◎	○		
3～4	社会心理学Ⅰ	所属専修課程（共生構想）における特定の専門知識を修得する。		○	◎		
3～4	社会心理学Ⅱ	所属専修課程（共生構想）における特定の専門知識を修得する。		○	◎		
3～4	認知心理学Ⅰ	所属専修課程（共生構想）における特定の専門知識を修得する。		○	◎		
3～4	認知心理学Ⅱ	所属専修課程（共生構想）における特定の専門知識を修得する。		○	◎		
3～4	行動科学測定法Ⅰ	所属専修課程（共生構想）における特定の専門知識を修得する。		○	◎		
3～4	行動科学測定法Ⅱ	学修者は代表的な多変量解析的手法を理解し、適切に利用できること。		○	◎		
3～4	ジェンダー史特殊講義Ⅰ	所属専修課程（共生構想）における特定の専門知識を修得する。		○	◎		
3～4	ジェンダー史特殊講義Ⅱ	所属専修課程（共生構想）における特定の専門知識を修得する。		○	◎		
3～4	ジェンダー社会論特殊講義Ⅰ	所属専修課程（共生構想）における特定の専門知識を修得する。		○	◎		
3～4	ジェンダー社会論特殊講義Ⅱ	所属専修課程（共生構想）における特定の専門知識を修得する。		○	◎		
3～4	ジェンダー文化論特殊講義Ⅰ	所属専修課程（共生構想）における特定の専門知識を修得する。		○	◎		
3～4	ジェンダー文化論特殊講義Ⅱ	所属専修課程（共生構想）における特定の専門知識を修得する。		○	◎		
3～4	共生社会を考えるⅠ	現在の日本が男女共同参画社会およびジェンダー／セクシュアリティ平等を形成するに向けて、どのような問題・課題をもっているのかを説明できるようになる。それらを解決するために国、地域、個人のレベルでどのようなことが行われているか、これからの課題は何かを体験的に認識する。		○	◎		

3~4	共生社会を考えるⅡ	・現行の社会制度のなかにある「ジェンダー・多様性」に関わる課題を理解し、ジェンダー・多様性の推進＝ダイバーシティの推進の必要性について理解できるようになる。 ・広義の社会福祉及び社会福祉政策に関わる課題について、分析視角としての「ダイバーシティ（ジェンダー・多様性）の視点」を用いて理解、分析できるようになることを目指す。		○	◎		
3~4	共生社会を考えるⅢ	(1) 「家族」の概念をダイバーシティとともに説明できる (2) 「家族」という視点を切り口に社会のダイナミクスを捉えることができる (3) 家族研究で使用される社会調査法について理解しそれを援用することができる		○	◎		
3~4	共生社会を考えるⅣ	1980年代に台頭した新自由主義的経済体制とその影響を理解する。全体主義という社会的状況について、ドイツの事例から検討し、市民社会およびコミュニティの重要性を認識することを到達目標とする。		○	◎		
2~4	社会心理学演習Ⅰ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	社会心理学演習Ⅱ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	社会心理学演習Ⅲ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	社会心理学演習Ⅳ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	認知心理学演習Ⅰ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	認知心理学演習Ⅱ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	認知心理学演習Ⅲ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	認知心理学演習Ⅳ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	行動科学演習Ⅰ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	行動科学演習Ⅱ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	行動科学演習Ⅲ	問題発見・問題解決過程を理解する。 内発的動機づけと外発的動機づけの違いを理解する。 自他の行動を科学的に捉える視点を身につける。				○	◎
2~4	行動科学演習Ⅳ	評価活動を通じて評価に関する資料収集と評価・測定の方法について理解する。 作品評価における主観的評価と客観的評価の違いを理解する。 作品の評価基準を自分たちで作成できる。				○	◎

2~4	ジェンダー史演習Ⅰ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	ジェンダー史演習Ⅱ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	ジェンダー史演習Ⅲ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	ジェンダー史演習Ⅳ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	ジェンダー社会論演習Ⅰ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	ジェンダー社会論演習Ⅱ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	ジェンダー社会論演習Ⅲ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	ジェンダー社会論演習Ⅳ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	ジェンダー文化論演習Ⅰ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	ジェンダー文化論演習Ⅱ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	ジェンダー文化論演習Ⅲ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	ジェンダー文化論演習Ⅳ	演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（共生構想）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその				○	◎
2~4	分裂した世界における人権	国際的視野を持ち、国内外の多様な文化および価値観を理解する能力				○	◎
2~4	民族紛争問題	中東の紛争の事例を学ぶことを通じて、世界各地の紛争全般の原因、経過、結果、解決や予防の手法を説明できるようになることを目指す。授業キーワード（下記）を定義づけ、説明できる。関心のある地域の事例について情報収集や分析ができる。				○	◎
2~4	差別と共生の社会学	(1) 日本社会における〈差別と共生〉をめぐる問題への関心を育む。どの位置から見るかによって「問題」の見え方が異なることを理解する。 (2) 自分とは社会的・歴史的背景が異なる他者、とりわけマイノリティ（社会的少数者）への想像力を涵養する。 (3) ヘイトスピーチや歴史修正主義といった現代的な問題群について接近できる社会理論を学び、〈差別と共生〉をめぐる諸問題が（個人の問題ではなく）社会的な課題であることを理解する。				○	◎
2~4	現代の民族	・ 民族の歴史に関する知識を獲得する。 ・ グローバリゼーションの中の民族のあり方について理解する。 ・ 現代世界の諸問題と民族との関係について人類学や社会学等でどのような研究がなされてきたのかを把握する。				○	◎

2~4	比較思想	東アジアの思想的展開を理解することで、多元的文化に向き合う素養を得ることができる。		○	◎		
2~4	異文化交流史Ⅰ	国境を越えた歴史叙述のあり方を、各テーマに即して習得する。この作業を通じて、広い歴史的視野から異文化を理解するための考え方を養う。		○	◎		
2~4	異文化交流史Ⅱ	現代の日中関係をめぐる諸問題の背景を理解し、歴史的思考力を身につける。		○	◎		
2~4	地中海文化圏講義	翻訳のテキストで、ボッカッチョの「デカメロン」からいくつかの物語を読みます。その中世物語文学の中で女性や恋愛・セクシュアリティがどう描かれているかについて分析します。さらに16世紀の刊本でそれらの表現にどのような検閲が行われたかを見ます。女性や恋愛が、中世においてどのような表現で描かれ、近代的印刷による刊本というメディアの出現の時代、どのような検閲が行われるようになったのかを考えます。さらに20世紀以降の我々の感覚とのズレがどのように生じているのか、現代のメディアにおける女性表象や恋愛観についても考えます。		○	◎		
2~4	欧米多文化主義論	アメリカの多文化主義の議論がどのように変化してきたかについて理解する。 アメリカの多文化主義が観光地でどのように実践されているか事例を探し考察できるようになる。 英語の文献を読み議論できるようになる。 授業に関連させた事例を探し考察できるようになる。		○	◎		
2~4	世界の中の日本文化	日本・アジア文化における特定の専門知識を修得する。		○	◎		
2~4	漢字文化圏比較論	日本・アジア文化における特定の専門知識を修得する。		○	◎		
2~4	Contemporary Art and Media in Australia and Asia I	Exposure to art concepts and art works from diverse regions of Asia, Australia and Oceania		○	◎		
2~4	Contemporary Art and Media in Australia and Asia II	Exposure to art concepts and art works from diverse regions of Asia, Australia and Oceania		○	◎		
2~4	Comparative Higher Education	1.To understand key international higher education components and the historical events of Japanese higher education and the world. 2.To understand issues and challenges of contemporary higher education worldwide with their related policies and practices. 3.To perform your understanding in higher education research by producing research reports on international higher education.		○	◎		
4	卒業研究Ⅰ	研究の能力をはぐくみ、すぐれた卒業論文を提出し、口頭発表をおこなうことをめざす。					◎
4	卒業研究Ⅱ	研究の能力をはぐくみ、すぐれた卒業論文を提出し、口頭発表をおこなうことをめざす。					◎